

## 小畠川の雑草対策における管理手法は

日本維新の会  
柊 彰



問（議員） 小畠川の堤防や河川敷では、雑草が伸び過ぎて道路への越境や標識が隠れるなど、安全上問題が起きており、除草作業の効率化やコストを抑えるために、刈取りの回数や時期の見直し、繁茂が激しい区間への予算の重点配分といった運用の考えはあるか。また自治会やボランティアなど、地域との協働での除草の取り組みについて市の見解はどうか。

答（市側） 小畠川の除草作業の頻度は、過去の繁茂状況やその年の日照・降雨状況に応じて、回数や時期の設定を行っている。予定どおりの回数や時期で対応できない場合は、除草の時期をずらすことや、緊急を要するときは職員による除草を実施している。地域との協働については、小畠川の除草は交通量の多い道路上の作業であり、河川側も急傾斜地であることから、一般の方が作業することは危険であるため、ボランティア等での対応は困難である。

その他の一般質問 物価高騰下における市の総合的な生活支援と経済対策について

## マンション建設に伴う通学路の安全確保を

日本共産党  
小原 明大



問（議員） 勝竜寺地域で、約470戸のマンション建設が始まっている。計画では、2,000人近い住民の増加が想定され、新たに三百数十台の車や九百数十台の自転車の交通が見込まれる。長岡第八小学校への通学路を考えると、以前から拡幅の議論がある狭い道路を通るが、拡幅について進捗はあるか。また、勝竜寺の町内を抜けて通学する場合には、横断歩道の新設も必要になると思われるが、周辺の安全対策も含めて、検討状況はどうか。

答（市側） 通学路拡幅の検討状況について、拡幅部分が河川区域内にあるため、河川管理者である京都府と、道路拡幅の事例や使用可能と思われる各種製品の情報を用いて協議を継続している状況である。また、マンション前の横断歩道の設置や周辺の安全対策については、本市と道路管理者である京都府や公安委員会などと協議していくものと考えている。

その他の一般質問 こども誰でも通園制度について/集団的自衛権・敵基地攻撃能力保有の具体化と地方自治について/公共施設等再編整備構想の改定について



12月定例会では、21名の議員が行政全般について、市長などの執行機関に対し、さまざまなお質問をしました。

ここでは、その質問の一部を掲載します。

一般質問

行政事務全般

議員

一般質問とは、本市の行政事務全般について、議員が疑問に思ったことなどを質問することです。議案とは何ら関係なく、自由に質問できることです。

ぜひ、傍聴にもお越しください。



## 重点支援地方交付金の効果的な活用は

日本共産党  
武山 彩子



**問 (議員)** 11月に閣議決定された総合経済対策を踏まえた重点支援地方交付金は、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援することを目的としている。この交付金メニューとして、水道基本料金の減免や国民健康保険料の均等割相当額を給付することは、物価高騰から市民の暮らしと営業を守る支援として考えるが、市の見解はどうか。

**答 (市側)** 交付金の活用については、国の政策、考え方を参考しながら、物価高騰の影響を受ける市民への支援に取り組んでいく方針である。水道基本料金の減免は、技術的に世帯主の所得や年齢などの条件で制限をかけることが難しく、基本的な方針にはじまない。国民健康保険料の均等割相当額の給付は、保険加入者のみの支援となり公平性の観点から適切でないと考える。市では、現在のところ、現金給付を中心として検討を進めている。

その他の一般質問 男女共同参画計画第8次計画について/長岡第5小学校の大規模化について

## 地域生活支援拠点等事業の緊急時対応は

日本共産党  
住田 初恵



**問 (議員)** 地域生活支援拠点等事業とは、障がいのある方の重度化や家族の高齢化、親亡き後を見据え、地域で支えるための、相談支援、一人暮らし体験の機会・場の提供、緊急時の受け入れ対応、専門的器材の確保・養成、関係機関の連携による地域の体制づくりの5機能を有するサービス提供体制を構築する役割を持つものである。これらのうち、特に緊急時対応体制の整備は早急に取り組むべきと考えるが、具体的にどのように対応していくのか。

**答 (市側)** 緊急時に備えた事前申請に基づき、新たに配置される拠点コーディネーターや相談支援専門員、基幹相談センターなどが事前に必要な対応を検討する。面的整備により緊急時でも各事業所がスマートに連携できるよう体制整備をしていくほか、利用者が安心して過ごせるよう、宿泊体験の場・機会も提供していく。

その他の一般質問 下水道PPPについて/水道事業について

## 犬と共に利用できる公園の検討は

輝(かがやき)  
大伴 墓



**問 (議員)** 犬の散歩は、運動不足やストレス解消、飼い主同士の交流の機会としても重要である。一部を除き市内の公園では犬の散歩が禁止されているが、近隣の公園でも利用を希望する声があると聞く。公園内のルールやマナーについての周知・啓発を行いつつ、本市の公園が犬と共に利用できるよう検討するべきと考えるが、市の見解はどうか。

**答 (市側)** 本市の公園は比較的小規模な公園が多いため、多様な利用者の共存には、安全確保のルール作りや衛生対策、地域住民の理解と協力が重要である。現在策定中の第2次みどりの基本計画においても、地域のニーズに即した公園のルール作りを重要施策として位置付けている。今後地域の方や利用者の意見も伺いながら、試行的な取り組みを実施するなど、段階的に合意形成を図る場や仕組みを設け、安心して利用できる魅力ある公園づくりを進める。

その他の一般質問 地域公共交通の維持について

## 本市におけるドッグラン整備は

長岡京未来の会  
川口 良江



**問 (議員)** 本市では3、465頭の犬が登録されており、ドッグラン施設の整備が必要と考える。飼い主や他の公園利用者が気を遣わなくてよいドッグラン施設の実現に向けた具体的な課題解決について、見解はどうか。

**答 (市側)** 現在策定中の第2次みどりの基本計画において、地域のニーズに即した公園のルールづくりを重要な施策の1つとし、ドッグランの開催や施設設置の検討を考えている。ドッグラン施設の設置には、安全な管理運営体制、公園利用者や近隣住民の理解、運営計画の慎重な検討が必要である。11月にござんていながいちひろばで、公益団体主催のドッグランイベントを許可し、こうした試行的な取り組みや、他市事例も参考にした。段階的な合意形成を図りながら、他の公園でのイベント開催やドッグラン施設の設置の可能性について調査研究を進める。

その他の一般質問 教職員等による児童生徒等への性暴力等防止の取り組み/小中学校における上半身脱衣での学校健診のさらなる改善策について

## 本市における火葬場・斎場の必要性は 長岡京未来の会 小谷 宗太郎



問（議員） 平成13年に設置された広域行政対策特別委員会では、火葬場・斎場は市民にとって必要な施設であるが、立地の問題で最終的に議論が行き詰まり、今後も調査・検討が必要であるとまとめられている。令和6年3月議会でも、基準に適合する設置場所などの課題があり、市内での設置は難しいとの答弁であったが、市民にとって必要な施設に関する課題について、本市の見解はどのようなものか。

答（市側） 火葬場・斎場について、過去の議論や、必要性などの声があることは承知しているが、本市では、近隣自治体の火葬場利用で一定のニーズに対応できていると認識している。火葬場の設置は困難性が高いだけでなく、広域でニーズに対応できることや、将来、広範な地域で人口減少が予測されることから、現時点で本市が調査・検討を具体的に進めることは考えていない。

その他の一般質問

公共施設の老朽化問題について

## 里帰り先での 産後ケア事業の利用は 会派に所属しない議員 天木 みなみ



問（議員） 産後ケア事業は、母親の身体的回復と心理的な安定を促進し、母親のセルフケア能力を育み、健やかな育児を支援することを目的としているが、里帰り出産時に市外での産後ケア利用は認められない。利用できない理由や、制度の仕組みはどのようなものか。また、里帰り先でケアが受けられる取り組みを進める考えはあるか。

答（市側） 産後ケア事業は母子保健法に基づき、市町村主体で専門職の配置がある事業者に委託している。本市では市内外計9事業者と契約して、市外での利用も実施しているが、里帰り先での地域資源の差によるサービスの質・量のばらつきや公平性の問題、利用前からの切れ目のないきめ細やかな支援が行き届くか不透明などの課題がある。今後これらの課題を解消する方法について検討していくことが重要と考える。

その他の一般質問

男女共同参画について

## 放課後児童クラブの 食事提供の試行方針は 輝（かがやき） 富田 達也



問（議員） 6月議会と9月議会において、放課後児童クラブの長期休業期間中の食事提供について提言してきた。共働き世帯やひとり親家庭が増える中、重要な支援策であると考える。今般、冬休み期間中に、放課後児童クラブでお弁当注文サービスを試行実施するとのことだが、冬休み、春休みも含めた今後の具体的な対応方針はどうか。

答（市側） 冬休み期間中のお弁当注文サービスは、保護者のお弁当作りの負担を軽減する選択肢を提供することを目的とし、弁当配達事業者を保護者に紹介する形で試行する。対象は全12クラブ中6クラブで、実施は8日間である。利用方法はオンライン注文システムを用い、クレジットカード決済で1食570円、メニュー表にアレルギン8品目を明記する。春休みには全クラブまで拡大し、期間が長い夏休みの実施に向けた試行を予定している。

その他の一般質問 給食費無償化/市民協働

## ～この言葉ってどういう意味？～ 語句解説コーナー

### 産後ケア事業

出産後に支援が必要な母子を対象に助産師などの看護職が中心となり、産科医療機関やご自宅で母親の体や赤ちゃんのケア、授乳指導・育児相談などが受けられる事業です。

### チャットボット（chatbot）

チャット（chat）とロボット（robot）の2つの言葉を合わせたもので人工知能（AI）を活用した自動会話プログラムのことです。

### 御本廟・遺廟（ごほんびょう・ゆいびょう）

廟とは、祖先や高貴な人の靈をまつる墓所のことです。光明寺では、法然上人の遺骨を青瓶に収めて地中に埋め、その上に火葬の時の灰と土とを練りかためた石塔を安置し、その石塔を雨露から守るために建てたお堂のことを指します。

## 複合課題を抱える方への支援を 輝(かがやき) 矢野 淳二



**問 (議員)** 育児と介護が同時期に重なるダブルケアなど、複合課題を抱える人への支援の充実が求められている。本市でも、チャットボット型のオンライン窓口などの整備により、相談先を迷わずに済むような導線を整備し、発信してはどうか。また、そのために必要となる相談実例を体系的にデータベース化し、相談内容を分析・活用してはどうか。

**答 (市側)** A-チャットボットは、市民の利便性向上が期待されるため、本市でも今後取り組む予定である。一方で、福祉の相談は複雑・複合化しており、本人も気付いていない課題が見つかるなど、直接のやり取りが重要と考える。また、実例を体系化できるほどの相談件数もない状況である。気兼ねなく相談できる環境づくりに努めるとともに、ホームページの工夫など、あらゆる機会を通じてダブルケアを含む支援につながる体制に取り組んでいく。

その他の  
一般質問

## ウォーターPPPの導入に向け検討は 公明党 福島 和人



**問 (議員)** 生活に欠かせない水道や下水道は、施設の老朽化や自治体の財政逼迫、技術職員の不足など多様な課題に直面している。近年ウォーターPPPが注目されているが、本市の考え方や調査・検討状況、また効果の見込みや導入の可能性はあるか。

**答 (市側)** ウォーターPPPは、国が推進する新しい官民連携方式で、長期契約で施設や管路の維持管理と更新を一体化するものである。本市では、下水道事業における管路施設の効率的な維持管理を行う有効な手段の一つとして導入を検討している。京都府の水環境構想2022の枠組みで、流域・公共一体型のウォーターPPPに参画し調査・協議を進めている。令和9年度以降、下水道ストックマネジメントの国庫補助を受けるにはウォーターPPP導入決定が交付要件となるため、導入には大きな効果があると考え、京都府や関連市町と検討を進める。

その他の  
一般質問

ごみの減量と適正処理について/京都府営水道の建設負担水量の見直しについて

## 竹林被害に係る京都府への緊急要望の内容は 令和自民党クラブ 三木 常照



**問 (議員)** 病害虫による深刻な竹林被害について、市が京都府への緊急要望を行つたとのことだが、内容はどうなものか。来年も同様の被害が発生する可能性がある中、市は防除対策として薬剤や動力噴霧器購入の補助制度を設けていますが、噴霧には複数の課題があり、ドローンなど省力的で効果的な防除方法はないかとの意見がある。竹林病害虫に対する補助金制度の拡充を検討する考えはあるか。

**答 (市側)** 京都府へは、広域的な実態調査、情報共有、対策検討体制の構築、被害軽減対策の確立を要望した。また国への働きかけとして、ドローンを使用可能な農薬の適用拡大、たけのこへの影響調査、蔓延防止措置などを要望した。近畿農政局長や農林水産省消費・安全局長へも同様に要望を行つた。市では動力噴霧器購入の補助上限額の増額、集落単位での防除対策への支援制度の検討を進める。

その他の  
一般質問

阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業について/空き家等対策計画について

## リチウムイオン電池などの廃棄方法は



輝(かがやき)  
宮小路 康文

**問 (議員)** リチウムイオン電池などの廃棄方法について、9月議会の総括質疑で、環境業務課に回収ボックスを設置していることや乙訓消防組合本部での受入開始、今後の収集体制構築の検討について答弁があつたが、その後の検討状況や回収拠点拡大などの方針についてどのように考えているか。

**答 (市側)** リチウムイオン電池などの収集体制について検討した結果、利便性と安全性を両立した収集方法に一定のめどがついたため、令和8年4月から小型充電式電池及びモバイルバッテリーのステーション回収を開始予定である。排出方法は、充電残量ゼロ、端子を絶縁するなどをルールとする。また、膨張や破損、変形したものや、電池を取り外せない製品については、環境業務課での回収のみとなる。ごみ減量のしおりや市ホームページなどで新しい排出方法やルールの徹底について周知を図る。

その他の  
一般質問

国鉄ヨ8000型緩急車について/安心してかよえる学校。児童・生徒の尊厳を守る取り組みについて

## 長岡第三小学校における校庭の芝生化は 令和西山クラブ 田村 直義



**問 (議員)** 校庭の芝生化は、安全面の向上や砂埃対策、緑地としての癒しなど多くのメリットがあり、地域コミュニティの財産となる。一方で、維持管理の負担感からか、長岡第七小学校の芝生化以後、校庭芝生化の動きは市内の他校に広がっていない状況である。長岡第二小学校再整備事業において、校庭の芝生化の可能性や整備方針はどのようなものか。

**答 (市側)** 校庭の芝生の維持管理は、原則、地域・学校・行政の協働により推進するが、負担の大きさや扱い手の確保が課題である。芝刈りを民間事業者に委託する方法やロボット芝刈り機の導入など、行政主導で負担軽減を図る対策を検討する。長岡第三小学校の再整備では、砂埃対策を含め、土のグラウンドや、天然芝・人工芝による芝生化や土壤改良など複数の選択肢を検討している。学校や地域団体、近隣住民の意見を取り入れて検討を進めていく。

その他の一般質問

国総合経済対策について/給食費について

## きょうと婚活応援センターの周知は

日本維新の会  
木曾 拓郎



**問 (議員)** 本市では、未婚者への婚活支援について、独自施策を特別に設けておらず、京都府運営のきょうと婚活応援センターを紹介していると聞く。婚活は広域的な取り組みが効率的との考えには賛同するが、認知度が市内で低い現状を踏まえ、広報の強化が必要であると考える。広報長岡京での特集掲載、市内公共施設へのポスター掲示、市内企業への協力を依頼、市公式LINEやXでの発信などの広報戦略を展開するべきと考えるが、市の見解はどつか。

**答 (市側)** きょうと婚活応援センターは、より広域的な婚活支援が効果的との観点から京都府が設置しているが、本市での認知度は低く課題がある。婚活イベントやセミナー、Aーマッチングなどを実施し、高い成果を上げている事業もあるため、市では、引き続きチラシの配架などの広報に協力し、認知度の向上を様々な手段を通じて図っていきたい。

その他の一般質問

## 東部地域における 医療環境整備は 令和西山クラブ 毛利 元



**問 (議員)** 東部地域でかかりつけ医が近くにないことへの不安な声が数多く寄せられている。地域による医療アクセス格差が放置されれば、高齢者や交通手段の乏しい方の健康管理に深刻な影響を与える。他市では空き物件情報の提供や通院支援、オンライン診療への環境整備などが進められている。市として医師の誘導ではなく、医療を提供しやすい環境やアクセスしやすい仕組みを整える考えはあるか。

**答 (市側)** 医療機関の誘致・誘導が手法的に難しいことを考えると、市内の豊富な医療資源を活用するための交通手段の確保に重点的に取り組むことが重要である。地域公共交通協議会においては、はっぴいバスの在り方を検討する部会が設置されており、医療アクセスも含め、先を見据えた様々な議論を想定している。中長期的な課題として交通手段の確保に取り組み、医療資源へとつなげていきたい。

その他の一般質問 「学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行」について

## 性暴力をなくすための 市長のメッセージは

日本共産党  
中村 歩



**問 (議員)** 昨年9月に本市中学校で教員による盗撮事件が発生した。子どもたちを深く傷つけ、尊厳を踏みにじる行為である。人権意識の希薄さや、児童ボルノの広がりなどの社会的背景を看過せず、組織の構造的な問題に踏み込み、信頼回復のために自己改革と原因究明を市も進めるべきである。子どもへの性暴力をなくすため、市長が今回の事件の認識と対応方針を示し、市全体で取り組むことをメッセージとして発信すべきと考えるがどうか。

**答 (市側)** 教員による盗撮事件は児童生徒の尊厳を踏みにじる重大な犯罪行為である。教育委員会では、盗撮防止ガイドラインを作成し実行に取り組んでいる。市としても今議会で更衣室などの整備に向けた補正予算案を上程しており、迅速な対策を教育委員会と連携し具体化することが最大のメッセージであり、具体的な行動が市長としての責任だと考える。

その他の一般質問 学校給食無償化について/はっぴいバス済生会病院の運行について

—

## 行政DXの現状と支援体制は 令和自民党クラブ 八木 優貴



**問 (議員)** Aー技術の進展に伴い、本市でも書類の電子化やオンライン申請、Aーチャットボット導入など、行政DXが進められている。住民サービスの効率化が図られる一方で、高齢者やデジタル機器に不慣れな方への支援も欠かせない。Aー活用が進むほど、温かい説明や寄り添う姿勢が求められる。誰一人取り残さないデジタル化の実現に向け、具体的な支援体制やロードマップはどのようなものか。

**答 (市側)** 本市では住民の利便性向上と業務効率化の両面からデジタル活用を推進し、誰一人取り残さない人に優しいデジタル化を基本方針としている。高齢者やデジタル機器に不慣れな方に対しても、スマートフォン講座を令和3年度から実施し、1,584名が参加された。今後も講座を通じた支援とともに、オンライン申請対応として、LINEを軸としたAー活用の仕組みづくりに取り組んでいく。

その他の一般質問 こども誰でも通園制度の導入・推進について

## 自動防災ラジオの配布方法・時期は 公明党 倉地 裕子



**問 (議員)** 災害時に情報を得る手段として、自動起動防災ラジオは停電時でも緊急情報を確実に受信することができる。本市では、避難時の要支援リストに登録されている世帯、土砂災害特別警戒区域や想定浸水深3メートル以上の地域に住む希望者などへ貸与されると聞く。広報紙に配布について記載されていたが、具体的な配布方法や時期、さらに対象外の希望者への対応についての方針はどうか。

**答 (市側)** 防災ラジオの配布は、避難行動要支援者名簿に登録された方を対象に令和8年1月中旬に事前通知のうえ、3月末までに宅配便で順次発送予定である。また、浸水深3メートル以上の洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域内などに居住し、かつ要配慮者がいる希望世帯には、申請に基づき無償貸与とするが、対象外の希望者へは、事情を十分に把握したうえで無償・有償について今後検討していく。

その他の一般質問

## JR長岡京駅東口再整備後のイメージは 輝(かがやき) 平木 竜馬



**問 (議員)** JR長岡京駅は本市の玄関口であり、駅の東口・西口は、市民の憩いの場である。東口にぎわい広場整備工事のその1工事は令和7年9月に完成し、その2工事として南側のにぎわい広場の整備が今年度から進められる。ただ、市民からは整備後にぎわいのイメージがわかりにくいとの声が寄せられている。整備後のイメージを近隣住民や利用者に伝えるため、看板などを設置して広報を進めるべきと考えるが、市の見解はどうか。

**答 (市側)** 南側のにぎわい広場整備後のイメージについては、市のホームページやデジタルサイネージで完成イメージ図を紹介する予定である。また、工事の際には工事用フェンスに掲示するなど、市民の皆様や駅を利用する方々に整備後にぎわいのイメージを共有していただけるよう各種広報を進めていく。

その他の一般質問 とりこぼさない支援体制整備事業(重層的支援体制整備事業)について

## 光明寺の重要文化財指定に伴う取り組みは 令和自民党クラブ 中小路 貴司



京都府教育委員会提供

**問 (議員)** 光明寺は、西山淨土宗總本山であり、法然上人の遺廟として浄土宗の根源ともされる寺院である。光明寺の建造物のうち8棟が令和7年10月の国文化審議会の答申により、重要文化財に指定される見通しどなつた。非公開である御本廟を含むこれらの文化財は、保護しつつ活用、公開することが求められる。次年度オーブン予定の歴史資料展示室で映像を活用するなどして展示してはどうか。また、文化財啓発の一環として毎年実施される周遊事業において、光明寺を巡るよう展開してはどうか。

**答 (市側)** 次年度開設予定の歴史資料展示室では、光明寺の御本廟などを含む、普段見ることができない文化財を3D画像で再現し「見る」「体感する」仕組みを導入予定である。周遊事業では光明寺をポイントの1つとし、多くの人に文化財を知つてもらう機会となることから、積極的に取り組みたい。

その他の一般質問 持続可能な地域経済振興について